

Lifework

100人の詩歌文学館

辞世の名句百選
注目女子校・女子大にみる短歌の未来
未来の礎・石井萌々果
夏目漱石
辺見じゅん
台北ワンダー
島根遊覧

Lifework

第

8

号

辞世の名句百選



アートディレクター

水谷孝次

インタビュー Koji Mizutani

100人のライフワーク

07



『デザインが奇跡を起こす』
「思い」を「カタチ」にする仕事術

2008年北京オリンピック開会式

デザインで
人を幸せに

デザインの仕事を始めて37年、常に情熱を持ってデザインと向き合ってきた水谷孝次さんは、大手企業の広告キャンペーンなどを数多く手がけ、世界のポスター展でも数えきれない程の賞を受賞。妥協を許さない自分との戦い、そして周囲との対立、多くの壁にぶち当たりながらも、やりたいたいという情熱が水谷さんを突き動かしてきた。そんな最先端のデザインを生み出す水谷さんが、ある笑顔の写真に導かれるかのように出会ったのが「MERRY」だった。ハッピーと同じような意味を持ちながら、より広い意味で使われる「MERRY」。それから、水谷さんは世界25カ国で笑顔の写真を撮り続け、今では多くのMERRY PROJECTを展開している。

「感動も、欲も、涙も、人間はみんな一緒なんですよね。そのなかで笑顔というのは、心を癒し、繋ぎ、手を結ぶMERRY。ゴーラウンドになれる、人間の本当に良い持ち物なんだと実感したんです。撮影を続けていると、どこか寂しさや悲しさを持ちつつ、その笑顔が切ないくらいに美しくなったり、そういうなかにこそ笑顔の原点があるのではないかと思うんです。そうすると、豊かさが本当に良いのかというところにも辿り着きますし、幸福と

水谷孝次

デザインが奇跡を起こす

「思い」を「カタチ」にする仕事術



PHP研究所

デザインが奇跡を起こす

水谷孝次

PHP

『デザインが奇跡を起こす』『思い』を「カタチ」にする仕事術
PHP 研究所 四六判並製 256頁 978-4-569-77636-1 ¥1,470 (税込)

はそんなに大きなものではなくて、実は自分の前にある小さなことなんだと気づきますね」
2008年北京オリンピック開会式、水谷さんがこれまでに撮影してきた笑顔の写真が、『英雄』HERO』のチャン・イーモウ監督のディレクションにより笑顔の傘となつて満開に花開いた。水谷さんは自らの信念を貫き通し、立ちほだかる問題にぎりぎりまで立ち向かいながら、本物の笑顔の開花を実現させた。

「今の世界が抱えている問題を出していくべきだということを言いたかったし、やりたかった。9・11のあと、平和の祭典であるオリンピックは世界が目を開くベストチャンスだと思っていました。だから、子どもたちの笑顔こそが地球の未来なんだということを伝えたくったんです」
MERRY PROJECTの始動から約10年、「MERRY」こどもの森づくり「Merry Garden」
「Merry Farming」など、笑顔ある環境づくりを目指し、農業や医療施設という新しい現場でのプロジェクトも次々と進められ、現在も愛知県犬山市で、犬で街を元気にしよう！という「MERRY BOWWOW PROJECT」が進行中だという。



インドネシア・バンダアチェにて

昔から犬と人間が密接に関わり合ってきた犬山市に世界中の愛犬家を集め、街全体をMERRYにしたという思いのもと、地方の活性化を図った一大プロジェクトだ。デザインで人を幸せにしていきたいという水谷さんのMERRYのための闘いは今後も続いていく。
「笑顔は、相手の人や物を愛するから出ると思っていますね。このプロジェクトを進めていくなかでも、いろんな意味の愛が大事なのかなと思います。まず、愛いっばいで笑顔の自分をデザインしていく、そうすれば相手も笑顔になりますよね。デザインの仕事を始めてから、厳しい状況の連続ではあったんですが、そんなマイナスのエネルギーでも、いかに蓄えるかということが次のエネルギーに繋がるのではないかなと思うんです。僕なんかも他の事は全く駄目ですが、デザインは誰よりも

アートディレクター・グラフィックデザイナー
1951年名古屋市生まれ。日本デザインセンターを経て、1983年水谷事務所設立。1982年東京ADC賞をはじめ、JAGDA新人賞、N.Y.ADC国際展金賞・銀賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ展金賞・銅賞・特別賞ほか、多数受賞。99年より「MERRY PROJECT」を開始。05年愛知万博「愛・地球広場」にて「MERRY EXPO」、08年北京五輪開会式に芸術顧問として参加・世界中の子どもたちの笑顔の写真提供と支援。09年インドネシア・スマトラ島にて「Merry Umbrella Project」などを展開。

六本木ヒルズメトロハットにて



好きだし、やりたいし、一生懸命続けているというだけなんです」
自分にとってのMERRY(楽しいこと、幸せなとき、将来の夢など)とは？ 本書を読み終えたとき、そう自分自身に問い掛ける読者も多いのではないだろうか。これからの人生を切り開く糸口がきつと見つかるはずだ。